

Prince Takamado Netsuke Collection

# 高円宮家所蔵 根付と宮中装束



現代根付〈これでもか〉針谷祐之 時絵・黄楊 1999年



古根付〈大黒に唐子〉長雲斎及び落款(秀親) 象牙 19世紀



古根付〈狸々〉光雲 象牙・象嵌 19世紀



現代根付〈蝦蟇仙人〉森哲郎 黄楊 2000年



現代根付〈火の鳥〉高木喜峰 琥珀・金 1995年



現代根付〈竹に雨蛙〉小林仙歩 象牙 1986年



現代根付〈オールデイズ〉宮澤彰 象牙 2002年



現代根付〈碁打ち〉鈴木玉昇 象牙 1976年



古根付〈虎〉岡佳 象牙 18世紀



印籠  
根付・やどかり 忠峰 緒綿・梅花 鉛  
印籠(鶴八橋図) 青々光琳造 時絵・蠟燭 18世紀



高円宮妃殿下ご装束 十二単

2014年3月1日(土) ⇒ 3月30日(日)

会期中無休  
3/1(土)13:30より  
開館します

呉市立美術館  
KURE MUNICIPAL MUSEUM OF ART  
〒737-0028 呉市幸町入船山公園内 ☎0823(25)2007  
URL: <http://www.kure-bi.jp/> e-mail: [kure-bi@abeam.ocn.ne.jp](mailto:kure-bi@abeam.ocn.ne.jp)



## Prince Takamado Netsuke Collection

根付は、印籠や煙草入れなどを帯から提げるときに、紐の端に付けた小さな留め具です。はじめは簡素なものでしたが、江戸時代になり、町人文化の成熟とともに、装飾性や芸術性が重視されるようになりました。古根付と呼ばれるこうした古い根付は、文化・文政年間(1804-1830)に最盛期を迎えます。根付師たちは、象牙、鹿角、黄楊、黒檀、琥珀、珊瑚、金属、漆、陶磁器などさまざまな素材を用い、蒔絵や象嵌などの技を競って、多くの名品を生み出しました。

明治時代に入り、洋服文化が定着して根付の需要が急速に減少する一方、海外ではその高い芸術性が評価されるようになりました。戦後、伝統を継承しつつも現代的な感覚で作られた根付は現代根付と呼ばれ、斬新でひねりの利いたデザインが特徴です。最近では、多種多様な素材の活用と、外国人アーティストの参入により、再び活発な活動を見せています。

本展では、世界有数の根付コレクターである高円宮殿下が、妃殿下とともに収集された根付コレクションの中から、印籠や緒締を含むおよそ500点を展示します。また、両殿下が宮中儀式でお召しになったご装束のほか、楽器やカメラ等のご愛用品もあわせて紹介します。

# 高円宮家所蔵 根付と宮中装束

印籠・(蝶)図・寶哉其章花押・蒔絵 19世紀  
根付・(鳳凰若松)図・松甫



古根付〈茶筌売〉肅斎 木・象牙 19世紀



古根付〈重陽菊水図〉落款有 金属・鹿角 19世紀



現代根付〈ほおずき〉八川秀方 象牙 1960年



現代根付〈獅子舞〉中村空哉 象牙 1950年



現代根付〈ゆりかご〉スーザン・レイト・タグアナッツ・黄楊 1998年



古根付〈波図色絵瓢箪〉無銘 陶器 18世紀



現代根付〈稲雀〉木村静 黄楊 1997年



現代根付〈梟〉小野里三味 黄楊 2001年



現代根付〈鴉〉村松親月 象牙・蒔絵 1989年



現代根付〈とおせんぼ〉高木喜峰・タグアナッツ・金 1993年



### 根付とは…

和服を着ていた時代の人々は、日常に用いる小物や貴重品を帯から提げて携行していました。これらが帯から抜け落ちるのを防ぐために使われたのが「根付」です。帯の上で目立つ存在である根付は、意匠に凝った立体的な細工がほどこされ、お洒落な人々の身辺を飾る装飾工芸品となっていました。携帯電話を飾るストラップの起源は、根付にあるとも言われています。

### 〈関連イベント〉

#### ①学芸員によるギャラリートーク

日時／3月1日(土)15:00～  
3月9日(日)・21日(金・祝)各14:00～

#### ②講演会「手のひらの小宇宙－根付の世界」

日時／3月2日(日)10:00～11:00  
ご講演／高円宮妃久子殿下  
会場／呉阪急ホテル4階皇城の間

#### ③講演会「宮中装束－高円宮家を中心に」

日時／3月2日(日)13:30～14:30  
講師／仙石宗久氏(有職文化研究所)

Twitterで  
最新情報  
配信!!



公式アカウント  
@kure\_bi

#### ④ウェブ・レポーター鑑賞会

日時／3月7日(金)18:00～19:30  
対象／HP、ブログ、Twitter等で情報発信をされている方  
※鑑賞会当日に限り、無料招待します

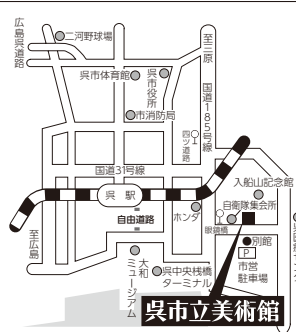
#### ⑤講演会「古美術における根付の魅力」

日時／3月16日(日)13:30～15:00  
講師／赤羽克秀氏(古美術愛好家)

#### ⑥鑑賞ワークショップ「プラ板で現代根付を作ろう」

日時／3月22日(土)13:30～14:30  
講師／当館学芸員

※②はハガキで住所・氏名・年齢・連絡先を明記の上、美術館「講演会係」まで、1/28(火)必着。③④⑤⑥は10日前までに申込が必要です。ハガキ・FAX・メールのいずれかで、住所氏名(ふりがな)・学年(年齢)・連絡先を明記の上各係まで。申込多数の場合は抽選。詳細は美術館までお問い合わせ下さい。●関連イベントに参加される方は、**展覧会の入館料が必要**です。



### 〔交通〕

- JR広島駅から呉線快速で30分、JR呉駅下車徒歩10分
- 呉駅前バスのりば③番から(音戸・倉橋方面行)5分、「眼鏡橋」下車徒歩1分
- 広島バスセンター⑥番から(本通6丁目行)50分、「四ツ道路」下車徒歩5分
- 広島東ICから広島呉自動車道(クレーライン)経由で30分
- 駐車場:入船山公園駐車場(60分/100円)

**割引券**

本券に割引料金をそえて入場券売場にお渡ください。  
(一枚一名様)  
■一般 1,000円▶900円

**割引券**

本券に割引料金をそえて入場券売場にお渡ください。  
(一枚一名様)  
■一般 1,000円▶900円